Netflixドラマのロケ地になりました

小樽市医師会
北海道済生会小樽病院
和田（わだ）　卓郎（たくろう）

2024年11月14日、Netflixのドラマ『さよならのつづき』が配信を開始しました。メインキャストは有村架純、坂口健太郎、生田斗真、中村ゆりといった実力派が揃い、さらに三浦友和、斉藤由貴、宮崎美子といった豪華な俳優陣が脇を固めています。小樽とハワイを舞台にした全８話の少し重めのラブストーリーで、坂口健太郎演じる小樽商科大学の職員が入院し、心臓移植を受ける病院として、当院・済生会小樽病院が重要なロケ地として登場します（**写真１**）。

Netflixから病院ロケの依頼があったのは、2023年のこと。当初、キャストの詳細は明かされていませんでしたが、何か感じるものがあり、すぐに承諾しました。ロケは同年９月と12月の土曜・日曜の合計３日間にわたって行われました。当院３階の病室での撮影（**写真２**）では、坂口健太郎を妻役の中村ゆりが見舞うシーンがあり、窓の外からの撮影に備えて、大掛かりな足場が組まれていました。

また、手術室では心臓移植手術のシーンも撮影され、生田斗真がドナー役として心臓摘出手術を受ける場面に当院の職員がエキストラとして多数参加しました。しかし、実際に映っていたのは麻酔科医役の整形外科医と若手看護師２名がわずか数秒ほど。台詞のあった医師のシーンは残念ながらカットされてしまいました。

ロケ当日は、50人以上ものスタッフが病院内を出入りしたため、５類になったとはいえ、コロナの感染対策上問題という批判の声も聞かれました。病棟での撮影に備え、１週間前から入院制限をかけるなど、思いのほか大変な準備も必要でしたが、職員たちは素敵な俳優たちを間近で見られ、楽しんでいたように思います。

ドラマ配信の初日には、済生会小樽病院近くのマリーナで、有村架純と坂口健太郎が登場するレッドカーペットイベントが開催され、私も病院代表として参加させていただきました。実際の有村架純はテレビで見る以上に本当に可愛らしく､感激しました。坂口健太郎はドラマでピアノを演奏するシーンがあるのですが、この日は海辺の寒い中、生演奏を披露してくれました。その感動もあり、私はその後３日間で全８話を一気に観終え、架純ちゃんの大ファンになってしまいました。

現在、ネット上では聖地巡礼のマップに当院も紹介されています。このドラマがきっかけで、さらに多くの観光客が小樽を訪れるようになれば、病院としての地域貢献にもつながると考えます。一方、全世界への配信のため、外国人が病院敷地内にあふれたらどうしようと少し心配です。ドラマでは小樽の四季がとても美しく描かれており、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと思っています。

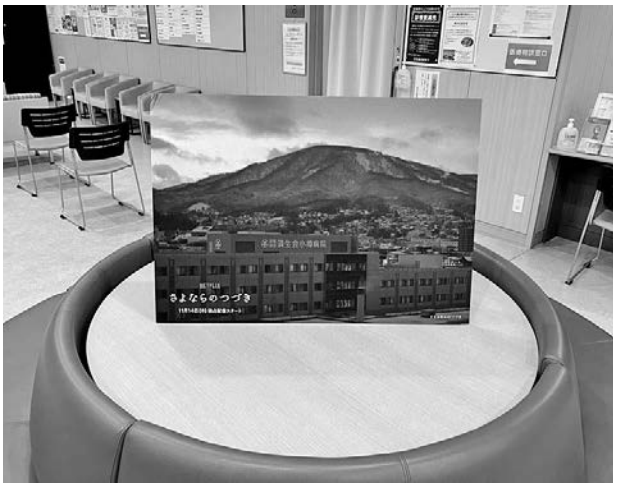

写真１

写真２